

消防設備デジタル審査ソフトによる高度審査について（東北物産株式会社）

会社URL <https://tbcompany.co.jp>

技術の概要

- ✓ 消防設備業者から提出されるPDF図面・届出データ（スキャン図面を含む）をそのまま取り込み、審査画面上で縮尺調整・歪み補正を行いながら内容を確認。
- ✓ 防火区画のカバーエリア可視化（スプリンクラー等の放射区域）や図面の重ね表示（梁の影響を考慮した審査）など、視覚的な審査を支援。
- ✓ 図面上にメモ・マーカーを追加できるため、審査時の指摘事項をデータ上に記録・共有可能。
- ✓ RAGDAで作成された図面・書類は消防法令に適合した状態で提出されるため、図面の不備や転記誤りがない状態で審査でき、審査業務の負担・手戻りを軽減。

消防業務での活用イメージ（想定）

- ✓ 消防本部における着工届・設置届の審査で、RAGDA上で適合状況を確認しながら審査を実施。

項目	現状	導入後（見込み）
審査所要時間（1件）	90分	→ 30分
年間審査工数（300件）	450時間	→ 150時間
区画・面積計算（1万㎡超）	4時間	→ 40分

想定している連携内容と消防本部

- ・消防の現場運用に関する情報共有
戸田市消防本部

RAGDAによる審査フロー（イメージ）

消防設備業者（提出側）

1 PDF図面の読込・自動補正

スキャン図面を含むPDFを取込み、歪み・縮尺を自動補正



2 機器配置・法令適合チェック

消火器・自動火災報知設備等を配置し、消防法令への適合可否を自動チェック



3 適合図面・届出書類の作成

法令に適合した図面データから着工届・設置届の様式を自動作成



提出

消防本部（審査側）

1 適合済み図面・書類を受領

転記誤りや法令不備のない状態のデータを受領



2 可視化機能で審査

カバーエリア可視化（放射区域）や重ね表示（梁の影響）で確認



3 メモ・マーカーで指摘共有

指摘事項をデータ上に記録し、業者と共有・デジタル審査

